

## 人事委員会議事録（第1617回）

### 1 開催日時

令和元年9月12日（木）16：35～17：20

### 2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

### 3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	竹田佑一	委員
	鈴木尉久	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	門田高弘	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

## 開 会

### 第1号議案

#### 議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1616回）について審議の結果、原案どおり承認した。

### 報告事項1

#### 行政B（高卒程度）採用試験の申込状況

任用課長が、標記試験の申込状況等を報告した。

（委員からの質問）

前年度と比較して事務系職種内で増減が見られるがなぜか。

（事務局）

前年度倍率が高かった職種は翌年敬遠されて倍率が下がる傾向にあるが、今年度はそうとも言えない。申込者数が減った教育事務職、小中学校事務職は、教育委員会でももう少しPRをしてもらえたらよかったのではないかと考えている。

### 報告事項2

#### 会計年度任用職員制度の導入

給与課長が、9月県議会に関係条例を上程すべく検討が進められている標記制度内容等を説明した。

（委員からの意見）

今回の改正のポイントを教えてほしい。

(事務局)

特別職非常勤職員は専門的な知識・経験に基づいた助言等を行う職として、臨時的任用職員は常勤職員に欠員が生じた場合の代替の職として、それぞれ制度本来の趣旨に合致するよう任用を厳格化し、一般的な事務補助は、新たに会計年度任用職員としての任用が制度化された。

(委員からの質問)

実際に勤務している職員にとって、勤務環境に大きな変化はあるのか。

(事務局)

期末手当が支給されることで報酬水準は変わるが、勤務形態は引き継がれ、大きくは変わらない見込みである。

### 報告事項 3

#### 職員給与実態調査及び職種別民間給与実態調査等の結果

給与課長が、標記調査の結果等を報告した。

(委員からの質問)

調査結果について事務局の所感はどうか。

(事務局)

昨年と大きく変わっていないという印象である。民間では減速傾向といった報道もあったが、少なくとも今年4月時点ではさほど変化はなかった。

(委員からの質問)

調査不能の件数が昨年より減少しているが、何か要因があるのか。

(事務局)

調査員の努力もあり、今年は多くの事業所に協力を得られたためと考えている。

### 報告事項 4

#### 兵庫県人事委員会勧告に対する申し入れ

給与課長が、標記勧告の申し入れを報告した。

### 報告事項 5

#### 秋の定期人事異動（警察本部）

任用課長が、警察本部の令和元年度秋の定期人事異動を報告した。

### 報告事項 6

#### 任命権者が行った処分

任用課長が、教育委員会が行った3件の懲戒処分の内容及び理由を説明した。

閉 会